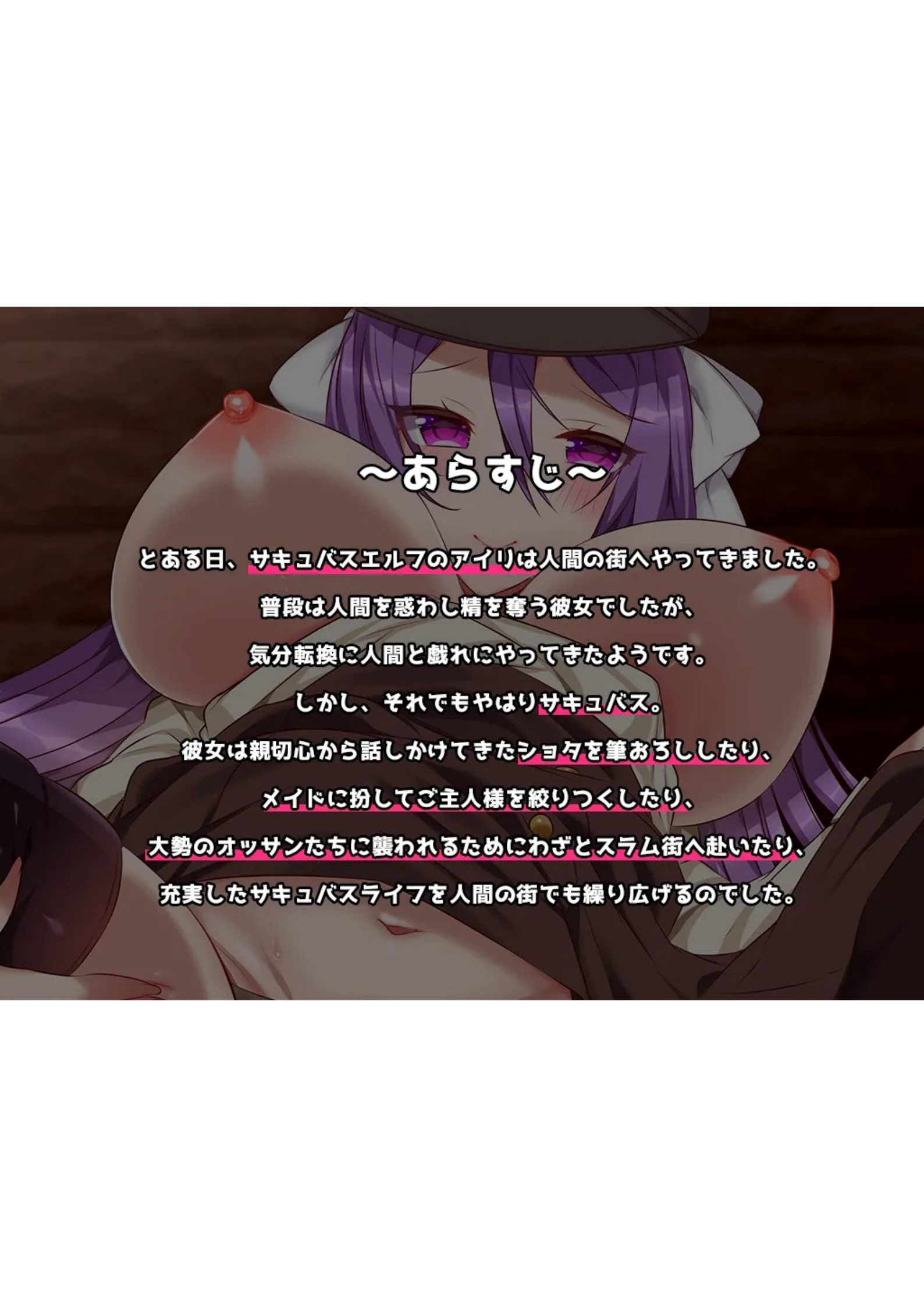


CG集

サキユバスエルフに

襲われた!!!





～あらすじ～

とある日、**サキュバスエルフのアイリ**は人間の街へやってきました。

普段は人間を惑わし精を奪う彼女でしたが、
気分転換に人間と戯れにやってきたようです。

しかし、それでもやはり**サキュバス**。

彼女は親切心から話しかけてきた**ショタ**を筆おろししたり、

メイドに扮してご主人様を絞めつくしたり、

大勢のオッサンたちに襲われるためにわざとスラム街へ赴いたり、

充実したサキュバスライフを人間の街でも繰り広げるのでした。

▼キャラクターしょうかい

なまえ アイリ
しゅぞく サキュバスエルフ

スキル
魅了 魔眼
幻覚 吸精

せいたい

精液を主食にしている
サキュバスとエルフのハーフ。
普通のサキュバスと比べて
長寿だったり、回復力が高かったりと、
エルフの恩恵を受けているものの
本人は特に気にしていない。
普段は森に住んでいて、
気まぐれに街や人通りの少ない道に出向いては
男性の精液をいただきに行く。

▼ 街

んんん♡♡

久しぶりに
人間の街に来たけど
やっぱり活気が
あっていいわね♡

いつも森の中暮らしだから
たまにはこうやって
賑やかなところも楽しみたいし

…それに
新しいザーマン奴隷さん
見繕うのも面白そう
んんん♡♡

～シヨタ筆おろし編～



それにしても
街の様子も大分変わったわねえ
前来た時より
そんなに経ってないはずなのに

人間の街は
様変わりするのが早いわあ

「…あら？何かしら坊や？私にご用？」

「『街に来たのは初めて』？」

初めて来たってわけじゃないけど、

随分と様変わりしちゃったみたいで。

私の記憶と大分違っていて、ちょっと困ってたのよね。」

「え、『街を案内してあげる』？」

「そうねえ…、せっかくだから、

お言葉に甘えちゃおうかしら。

それじゃ坊や、案内を頼めるかしら？」

今日はい日、坊やが私の専属ガイドさんね。

私の名前はアイリ。宜しくね、うふふっ♡」



「…ふう。結構歩いたわね。

ありがとう坊や。

大分今の街にも詳しくなっただわ。

凄いわねこの街は。ちよつと見ない間にすごい変わっちゃって。

一人であてもなくフラフラしてたら、きつと迷子になっていたわ」

「これは、お礼よ。ちゅっ♡」

「あらあら、お顔が真っ赤よ坊や。可愛いわね。うふふっ♡

…ねえ坊や。もっとすごいお礼をさせてもらえないかしら？」

「ちよつと人目の多いところだとできないから、ちよつとその路地裏に行かない？」



「…ここだったら、人目に付きづらいわよね」

「それで坊や、早速なんだけど…」

女の子とエッチなことをした経験あるかしら？」

「…うふふつ、『ない』かあ。そつよねえ。」

頬にキスされてお顔真っ赤にするような

坊やじゃ、あるわけないわよねえ」

「それじゃあ…♡アイリさんが特別に、

エッチなものを見せてあげようかしら♡」

「ねえ坊や。もしかして坊やは無意識かもしれないけど、

ずつつとアイリさんのおつきな胸、見てたわよ？」

あらら、別に責めてるわけじゃないのよ？」

男の子だったら、おつきな胸に興味があるのは自然なもの♡」





「でもお…どうせなら、
直接おっぱいを見てみたくない？」

「白くて、柔らかくてえ、

でも張りのある、瑞々しいおっぱい…。

ねえ、興味あるでしょう？」

「…うんうん。素直な子はアイリさん、大好きよ♡」

それじゃあ
見せてあげるわね

はあ、ふんふん
楽しみにしてた
おっぱいおっぱい♡

たっ♡♡

たっ♡♡



うふふっ♡
すっごい食い入るように
アイリさんの
おっぱい見てるっ♡

初めての生おっぱい、
どうかしらっ？
興奮するわよねっ？



ああん、いいわあ♡
こんな風に視線を感じるもの
悪くないわねえ

いつも私が
苛めてばかりだったから
こんな感覚は新鮮よお♡

…え？うふふっ♡
今のは何でもないわよ
気にしないで

それより
「」もよおく見へ？





おっぱいの先っちょよ
尖がってる
真っ赤な乳首い♡

おっぱいは
透き通るような真っ白なのに
この先っちょだけ
真っ赤なのって
なんだかエツキでしょ？

うふふっ♡
坊やの目が
先っちょに集中してるの
感じるわよっ♡
もっともっと硬くなっちゃっ♡


ぎゅうっ♡と引っ張るん、
おっぱいも一緒♡
伸びちゃってえ…
すっごくエツキなお♡

そしておっぱいも、
こんなに揉み揉みすると
指が沈み込んでじゃうくらい、
すっごく柔らかいの♡

ぐにぐに揉み込んでえ
形がこんなに
変わっちゃうなんてえ♡
とってもエッチ…♡

うふふっ♡
坊や、片時も目を
離さないわねえ
いいわよ♡

それじゃあ
アイリさんもっと
見せてあげる…♡



このスカートの中
坊やも興味あるでしょ？

スカートの中はねえ
こんな風に
なってる…の…♡

どうかしら？
アイリさんの下着…
もうぐしょぐしょに
濡れてるの
分かるでしょ？

女の人ね
気持ちよくなると
こっちは
濡れてきちゃうの♡

このお股からとろとろおって
蜜みたいなお汁が垂れてきて
男の子を誘惑しちゃう
イケない匂いが
出てきちゃうの♡

ねえ、坊やも匂うでしょ？
この匂いを嗅ぐと
男の子は堪らなく
エッチな気持ちになっちゃう

坊やも、そうよね？
うふふっ♡

聞くまでもないわね
そんなエッチな顔をしてちゃ
もう答えるのも同然なもの

それでね？
この下着を取っちゃうと
お股はこんな風
なってるの…よ…？

ねえ、見えるかしら？

このぐつしよぐしよに
なっただお股の中心に
割れ目が走ってるの…♡

おわっ♡

おわっ♡



「このエッチなお汁は
」から吐けるのよあ？」

ここにはね
男の子のおちんちんを入れて
気持ちよくなる場所なの

坊やおちんちんも
ここに挿入るかも
しれないわねえ

ねえ、もつとよく見て...?
よく見えるように、
くばあつて広げてあげる





見える、かしらあ、
指で割れ目を開くと、
この割れ目が穴に
なってるのが分かるでしょ？

ここに男の子のおちんちんを
ジユボジユボジユボジユボ
って抜き差しするの♡

ネっするくもっく
エッチなお汁が
ドロドロに溢れてきて
おちんちんを
包んじゃうの♡

くほまっ♡



この穴の中のお肉やヒダヒダ、
それにこの穴の奥にある
子宮口で亀頭をキゅッキゅッと
締め付けちゃうと…♡

お汁だけじゃない

男の子はみんな
我慢できずに
射精しちゃうの♡

んん

んん



ねえ、想像した？

自分のおちんちんが、
アイリさんの割れ目に…
おまんこに
挿入っちゃうところ♡

きつと気持ちいいわよ？
この世で一番の快楽を
味わえると思うわ♡

それを知ったら
もう二度と引き返せない…

エッチをしなきゃ
生きられない
身体になっちゃうわよ♡

…なあんてね♪

そんな怖いこと
あるわけないじゃない
今のはアイリスさんの
冗談よ？うふふっ♡



怖い思いを
させちゃったお詫びに
坊やおちんちんも
気持ちよくしてあげるわね？



うふふっ♡やつぱりいい♡
ズボンの上からでも
分かるくらい
すっごい勃起してる♡

アイリさんの
おっぱいとおまんこ見て
こんなに興奮しちゃったんだあ

わ・る・い・「」♡

そんな悪い子は
「」よっ！



ああん♡
おちんちんがすごい勢いで
ブルンッって飛び出してきたわぁ♡
なんて活きがいいのぉ♡

しかも
坊やの身体には不釣り合いなほど
すっごくおっきい…♡
アイリさん、
握らなくなっちゃうわぁ♡

あら？♡でも坊や
まだおちんちんが
皮被ったままねえ
もしかして…

まだオナニーも
したことないのかしら？

…あらあ、オナニーも
まだだったのね

ひんがた

それじゃ、アイリさんが
エツキな手ほどきをして
あげなきゃいけないわねえ

まずはあ…
皮を剥き剥き
しましようねえ♡

手で剥くと痛いから
お口で剥いて
あ・げ・る♡

まずは軽うく
おちんちんを
涎いっぱい
舌で濡らしてえ…♡

ちゅい
ちゅい





うふふっ♡
坊やのおちんちん
アイリさんの涎で
ベトベト♡

こんなに濡れてるなら
もう大丈夫ね
それじゃ
剥いてあげるわよお

皮を唇で啜えて
ゆっくりゆっくり
めくってこいぐとあ...

いっ

ぶい



すっごく立派よぉ♡
あぁん♡
亀頭もピンク色をしてて、
すっごく綺麗…♡

はい♡
坊やおちんちんが
大人おちんちんに
なりましたぁ♡

もう、食べちゃおっと
いただきまーす♪

ムム...



あむっ…♡

んんうゝ
美味しいわぁ♡
坊やおちんちん

またオナニーも
したことなかった
童貞新品おちんちんを
ペロペロジュルジュル
してると思うと…

すっごく気分が
昂ってきちゃっわぁ♡



君の初フェラの相手は
アイリさんのよぉ♡

よぉっく
覚えておいてねっ

…どうしたの
坊や？

そんな焦った
顔をしちゃって

じゅわん
じゅわん
じゅわん
じゅわん
じゅわん
じゅわん

ぱん
ぱん
ぱん
ぱん
ぱん
ぱん



えっ
『おしっこ』はちやがごんごううんふふっ♡それはね…
おしっことは違うものの

でも、おしっこみたいに
すっごく気持ちいい
もののよぉ♡

アイリさんのことは
気になくていいわぁ
そのまま、アイリさんのお口に
おしっこ…♡
んっふふっ♡

んっふふっ♡
んっふふっ♡
んっふふっ♡
んっふふっ♡
んっふふっ♡
んっふふっ♡



ねえ坊や
アイリさんの
お口を見てえ♡

坊やが出した
真っ白おしっこが
このお口にたあくさん
溜まってるの、分かるでしょ？

男の子はね
気持ちよくなると
「うーっエッチな
おしっこ出さるわ」って
なめるの♡

勉強になったかしら？

はっ

はっはっはっ

クマッ

くっ...



そして
そんなおしつ「はあ...

ズクニ

はああん...♡
美味しかったあ

そ、こうやって
ごっくんしちやうの♡
女性の嗜みなよ♡

ところで
坊やは初めての
真っ白おしっこ
どうだった？

アイリスさんに感想
聞かせてほしいなあ♪

∴『頭が真っ白になるほど、
すごく気持ちよかった』？

あらあ、嬉しいこと
言ってくれるわねえ
アイリスさんも頑張って
フェラしてあげた
甲斐があったわあ♡

で・もお…
まだ坊やのおちんちん、
かたあいままよね♡

ねえ、どうしたい？
坊やの素直な気持ち
聞かせてほしいなあ♪

…『もっと真っ白
おしっこしたい』？
うふふっ♡
もお可愛い坊やねえ♡

ワケワケ♡

それじゃあ
今度はアイリさんが…
筆おろしして
あげようかしらね♡

はじめまして
ご主人様

私、本日よりご主人様の
メイドとしてこのお屋敷で
働かせていただくこと
になりました
アイリと申します

今後とも
どうか宜しく
お願い致しますわ♡

～メイドご奉仕編～

…はい、街で見かけた
張り紙を見て参りました

見ての通り私は
エルフの里の出身なもので
色々と物知らずなため…

このようなお屋敷で
働かせていただければ
都会のことも学べる
良いきっかけかと
思ったのです





もちろん
ご主人様のお世話には
全力を尽くす所存です

こう見えても
里の中では家族や
部族のみんなの
お世話係でしたのよ?

ご期待くださいませ
ご主人様♡

上手くいったわね
私のメイドっぷりも
なかなかじゃないかしら？

ご主人様も
すっかり信用
してくれてるわぁ

面接のときは面倒だったから
魔法を使って採用させて
もらっちゃったけど

あんまりそれを使うのも
興が冷めちゃうのよね～

あくまでのメイドの
振る舞いは
私自身のセンスで
やらなくちゃ





：獲物を狙うサキユバスは
ジツと機会を待って
確実に搾り取るの♡

そのためには
獲物を油断させるのも
必要だからね♡



「ご主人様、食後の紅茶をお持ちしました。はい、それではこちらに置いておきますね」

「…どうされましたか、ご主人様、」

『屋敷にはもう慣れたか？』ですか？

はい、まだ半日ですが先輩方には大変良く指導していただきました。

ここなら、今後もしっかり働いていけそうです。

それに、ご主人様も大変お優しくて素敵なので、

一緒に過ごせるのはとても楽しいですよ？」

「…この後の予定、ですか？いえ、特に何もありません。

研修なども終わりましたし、あとは明日に備えてお休みしようかと…」

「お仕事、ですか？」

「はい、ご主人様からのお願いとあれば、このアイリが全身全霊で承ります。どんな内容でしょうか？」



「…エ、エツチなご奉仕です、か。」
「い、いえ、問題ありません。」
メイドになったのですから、「どういつ」もお仕事の内ですよねっ。」
「エルフの里でも、都会でメイドをするのと同じことをやらされるの、
よく言われていましたので…。」

で、でもまず、
何から始めれば
いいでしょうか？


『ズボンからおちんちんを
取り出せ』ですね
分かりました、
それでは失礼、しますね…

よし、しょう、と...

こ、これがご主人様
ですか...

すごく、大きいですね...
男の人の...を
マジマジと見るのは
初めてです

そ、そんなことはありません
里にいた時も
男性との経験は
ありませんでしたし



ご主人様が
初めて、ですよ…?
それで次はどうすれば
宜しいですか？

『おっほいで
おちんちんをしごけ
ですか…?
もしかしてパイズリ
というものでしょうか？』

「メイドさんブレイは楽しかったわね〜」
「サキュバスが人間にゴ奉仕するなんて、
倒錯的で燃えちゃったわあ♡」

「でもお、ちよおつとあの人が用意した衣装は
地味だったんじゃないかしら？
もつとこう、エツチするためのスケベなデザインでも、
アイリさんは良かったのよ？」

「あのゴ主人様も結構なドスケベさんだったのに、
服のセンスはイマイチだったわねえ。ホント残念…はあ。」

「次は…そうねえ、ちよつとコツテリ濃厚なザーメンが飲みたいわね。
こう、脂ぎった性欲ギトギトのゼリーみたいなくっさい精液♡」

「そついつのを持ってそつなのは、
やっぱりあそつにいる人たちしかないわよね…♡」

～輪姦?編～

▼ スラム街

んん、物欲しそうに私を
チラチラ見る汚いオジサンたちがいっぱい。
やっぱり、スラム街って
こういう人たちがたくさんいるわよねえ。
女っ気のないこんな寂れた場所に、
アイリさんみたいな超絶美女が現れたら、
チラ見しないわけにはいかないでしょ？
見てるだけじゃなくて、手を出してくれてもいいんだけどなあ。
アイリさんから行ってもいいけど、
ここはやっぱり女性から襲われるのが、
マナーっていうものでしょ？

まだかしら、まだかしら。



悪そうなオジサン
きたー！ーッ♡

実は道に迷ってしまつて
ここが何処なのか
私も分かっていないんです…

え、えっと、ですね…

私も早く
街に戻りたくて…

な、何をするんですか…？
や、止めてください！



は、離してください！
離してっ！

こんな、狭くて
暗いところに
私を押し込めて
一体どうしようか
というのですか…？





せ、せめて
優しく、優しく！
痛い、痛いですっ！！

跡が、跡が付いちやうっ！
痛い、痛い痛い痛いっ！
うう、ぐすぐす、うううう…

い、痛い、痛いのお！！
皆で一斉に、私の胸を
乱暴に揉みしだいてえ！

きやあああつ！？
や、やめ
やめてええええっ！！

そんな、胸
揉まないでくださいっ！



あ、い、いえ、すみません
言い過ぎました…

し、『ごうけ』…？
手で握れっというんですか！？

「、これをどうしろって
いうんですか？

ひっ！？そ、そんなモノ
見せつけないでくださいっ！
い、嫌だ、気持ち悪い…っ！

ズルズル

うっ、うっうっ…
ああ、硬くて熱くて
臭い…っ


手が、火傷しちゃいそうです…
こんな固くそそり立たせて
血管まで浮き上がらせて…

そんなものを
私に扱わせるなんて
ひどいわ…

っふっふっ♡

私の演技力もなかなかね♡
男を弄ぶのって楽しいわぁ♡





～トラックリスト～

1. ショタ筆おろし編

『ねえ坊や。もっとすごいお礼をさせてもらえないかしら?』

2. メイドご奉仕編

『新人メイドのアイリに、ご主人様の熱いのをください』

3. 輪姦?編

『嬲られて、犯されるなんて、ひどいです』

～CG集～

基本CG11枚

文字あり差分約250枚